

大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査 2022

回答に際してのお願い

※本調査に回答される方は、必ず事前に本紙をご一読ください。複数の部課で回答を分担される場合には、本紙を必ず配布していただきますようお願い申し上げます。本調査の基準日は 2022 年 5 月 1 日です。

①本調査に関する依頼文・調査要項などはすべての大学に郵送でお送りしております。また、同内容のものを当センターのホームページからダウンロードいただくことができます。改めて郵送することはいたしておりませんので、必要な場合にはダウンロードしてください。

②本調査は、専用のウェブサイトから直接回答を入力し送信いただく形式で行います。当センターから質問票の郵送・FAX・メール送信はいたしておりません。また、回答を郵送・FAX・メールでお送りいただくことはできません。必ず専用のウェブサイトからご回答ください。なお、回答の入力画面と確認画面にそれぞれ印刷ボタンがありますので、必要な方はご利用ください。

③「大学における障害学生の受け入れ状況に関する調査 2013」以降の大学受け入れ調査にご回答いただいた大学の場合、最新の回答がすでに入力されています。内容をよくご確認の上、変更のある項目についてご入力ください。変更がない場合はそのまま保存してください。なお、A 概要 1（受験・在籍状況）、A 概要 2（卒業・進路状況）、E3 内部についてはすべての大学で新規に回答いただく必要があります。そのた、各年度で追加された新規の質問で、その年度の調査未回答の大学については、回答の必要があります。

④本調査では、受験を希望する障害学生への情報提供という視点を大切にするという目的で、書籍および「大学案内障害者版 Web 情報サービス」では、各大学の受験・在籍、および進路先について、障害種別のみを公開いたします。また個人情報の取り扱いに配慮する観点から、障害種別ごとの人数、受験・在籍・卒業人数の合計、および重複障害とその他の障害の詳細な記述については非公開といたします。なお非公開とした情報については、これまでと同様に、障害学生の支援の動向を明らかにする目的での分析・研究およびその結果の発表で使用いたします。（なお、非公開とした情報を利用する場合は、当センターで定める倫理規定に基づく審査を経るものとします）こうした趣旨をご理解いただき、A 概要 1（受験・在籍状況）、A 概要 2（卒業・進路状況）について、データの記入にご協力ください。

⑤A 概要 1 (受験・在籍状況) の A1 受験障害状況 2022 の回答については、推薦入試も含めて、実際に試験を受けた障害学生のべ人数の合計を記入してください。例えば、一人の障害学生が2つの入試形態で受験した場合は「2人」、2つの学部を受験した場合も「2人」とします。国公立大学の場合、2次試験を受験した障害学生の数になります。なお、障害学生の中には、受験時に特に配慮を申し出ていないため、障害学生であることがわからず、入学が決まった後、あるいは入学後に障害学生であることが判明することもあります。本調査に回答していただく段階で、学生の障害の状況がわかっている場合には、受験時の数に含めて記入してください。

⑥A 概要 1 (受験・在籍状況) の B1 現在在籍状況 2022 の回答については、受験して入学した障害学生だけでなく、入学後に障害をもった場合も含めて数を記入してください(一時的なケガや病気は除きます)。

なお、発達障害や精神障害については、診断書がある場合と、とくに診断書が出ていない場合があります。また本人が自分の障害について把握しておらずに保護者や支援者だけが把握している場合があります(その逆に、本人と支援者だけが把握している場合もあります)。また本人が配慮を特に必要と感じていなくても、保護者や支援者がその必要を感じている場合もあります。そこで以下の内容を目安に判断して記入してください。

(1) 診断書がある、または本人や保護者から具体的に疾患名が伝えられた場合に、該当の選択肢に数を含めて記入してください。選択肢中のリンク表示になっている部分をクリックすると説明がご覧になれます。

(2) 診断書などはないが、支援者や保護者から何らかの配慮が必要であるとして、配慮の対象になっている場合は、選択肢「⑩その他の発達障害」、「⑪その他の精神障害」に数を含めて記入してください。

⑦B 視覚～E3 内部および E4A 知的 A 受験可否の回答については、次のどちらか一方を選択してください。

①はい＝受験可: 大学に障害学生から問い合わせがある前の段階(まだ大学に障害学生から問い合わせがない段階)で、該当する障害種別の障害学生を受け入れることを決定している状態。

②いいえ＝受験可否未定: 大学に障害学生から問い合わせがあり、該当する障害種別の障害学生の状況を見て、受験をみとめるかどうか判断している状態。

※「事前協議」と「事前相談」には明確な違いがあります。事前協議は、大学が障害学生の状況を見て、入試や入学後にどこまで配慮できるかを検討したうえで、受験可否を判断します。一方、事前相談は、大学が受験を認めたうえで障害学生の様子を知るとともに、どのような配慮ができるかを検討するために行われます。したがって障害学生の状況により受験可否を判断するための事前協議を行う場合には、受験可否は②「可否未定」を選択してください。

さい。

⑧B 視覚～E3 内部 C2 受験配慮詳細の回答について、この質問は、受験生が大学に対して相談をする前の段階で、大学が障害学生に対してどのような配慮を実施できるかを問う質問です。事前相談をして決める場合でも、前もって大学・受験生双方である程度具体的な選択肢がないと相談のときに話がスムーズに行えない可能性があります。調査に回答したとおりの配慮をすべての受験生にしなくてはならないと考えるのではなく、事前相談の段階で、こういう配慮なら大学として行えそうだ、と受験生に提案できるというものを選択肢中から選んでいただければと思います。

- ・大学として具体的な配慮の内容が決まっている場合には、当てはまるものを選択する。
- ・大学として配慮内容が明確に決まっていない場合は、過去に配慮実績のあるものを選択する。または配慮可能と思われるものを選択する。
- ・配慮の見通しが立たない場合には「一般学生と同じ」、「特になし」を選択する。

⑨質問の本文中、または選択肢中のリンク表示になっている部分をクリックすると、該当の用語についての説明がご覧になれます。本調査で障害学生支援に関連のある語句について説明しています。ご参照ください。

⑩本調査では、一部の質問を除き、回答を空欄のままにすることはできないようになっています。各項目の質問は上から順に関連性が高く、前の質問の回答によって次の質問が異なる場合が多いためです。

- ・単数回答…該当の選択肢を一つ選ぶ。
- ・複数回答可…該当の選択肢を複数選ぶことができる。 ※ただし選択肢によっては、単数回答になる選択肢が含まれる場合があり、選択肢横にその旨が記載されています。
- ・記述回答…回答内容を記述する。
- ・自由回答…回答内容を自由に記述できる。未回答でもよい。

⑪本調査では、受験を希望する障害学生に対して、大学で受験や授業で受けられる配慮や支援の実際の状況をできるだけわかりやすく伝えるために、多くの選択肢を用意しています。現在の状況で配慮や支援の実績のあるもの、もしくは障害学生から希望があった場合に対応が可能なものを、選択肢中から選んで回答してください。選択肢を選ぶ代わりに、「その他」記述欄やコメント欄に選択肢番号や選択肢内容をそのまま記入して回答することはできません。

⑫「⑪の他」と「コメント」の記述欄については、以下のような違いがあります。

「その他」記述欄には、選択肢で挙げられた以外に、具体的な配慮を実施している場合、その内容をできるだけ詳しくご記入ください。

コメント欄には選択肢を選んだうえで、それを補足するための説明を 250 文字以内でご記入ください。(文字数が超過すると、内容が正しく表示されませんのでご注意ください)

「相談による」「未定」「個別に対応」、「障害の状況に応じて対応」といった、具体的な内容を伴わない記述はコメント欄にご記入ください。「その他」記述欄に上記のような内容が書かれている場合には、こちらでコメント欄に移させていただきます場合があります。

なお「配慮あり」、「支援あり」を選択していても、その内容について、具体的な配慮や支援の選択肢回答や記述がなく、上記のようなコメントのみの回答の場合、「配慮無し」、「支援無し」に変更となります。具体的な配慮の選択肢にチェックがあったり、配慮内容を記述いただいた場合にはこれらのコメントは選択肢や回答の補足説明となりますので「配慮あり」、「支援あり」となります。

※コメントの内容は『大学案内障害者版』（書籍）および「大学案内障害者版 Web 情報サービス」にて公表いたします。したがって、読みやすさを考慮し当センターで編集させていただきます場合があります。なお、同じ内容のコメントを複数の場所に記入されている場合には、適切な場所のみに限らせていただきます。ご了承ください。

⑬A 概要 1～H 支援 3 の項目ごとに、Q&A を掲載しています。各項目に回答する前にお読みください。また、どのように回答すればよいか迷われた場合、不明な点がある場合は、お問い合わせフォームよりできるだけ具体的に状況を記入して送信してください。個別の状況をお伺いし、サポートさせていただきます。

⑭すべての項目について回答の入力が終了したら、回答確定作業を行ってください。なお、回答必須の項目について未回答部分がある場合は、回答を確定できません。表示された未回答部分について入力の上、再度確定作業を行ってください。回答確定後は原則として内容の変更や回答確定の取り消しはできませんのでご了承ください。

⑮本調査では、回答締め切り後に内容を確認させていただき、不明な点をお問い合わせいたします。ただし、回答確認の効率化を図るため、選択肢を選んでいないなど、未回答の部分については以下のように処理させていただきます。ご了承ください。

以下、回答処理の例

- ・B 視覚 C2 イ 試験時間の配慮 【試験時間を配慮しますか。】が未回答の場合「④一般学生と同じ試験時間で試験を行う」と処理する。
- ・B 視覚 C 視覚障害受験時配慮有無 【入学試験を実施する上で何らかの配慮をし

ますか。】が「①はい」と回答しているが、C2 視覚障害配慮詳細 イ～トの項目について、選択肢がすべて未回答、またはコメントのみの場合、C 視覚障害受験時配慮有無を「②いいえ」と処理する。

・B 視覚 C 視覚障害受験時配慮有無 【入学試験を実施する上で何らかの配慮をしますか。】に「①はい」と回答しているが、C2 視覚障害配慮詳細 イ～トの項目について、選択肢がすべて「一般学生と同じ」、「特になし」の場合（具体的な配慮内容の選択肢にチェックがない）、C 視覚障害受験時配慮有無を「②いいえ」に変更処理する。

・A. 授業全体配慮有無 【授業全体を通して、大学として障害学生に何らかの配慮をしますか。】に「① はい」と回答しているが、A1. 授業全体配慮方針 【Aで「はい」と回答した大学に伺います。大学としてどのような配慮方針をもっていますか。】に未回答の場合 「⑥大学として、授業全体を通しての具体的配慮方針は決まっていない」と処理する。

・I. 視覚障害学生学内支援有無 【視覚障害学生に対して、何らかの支援を行いますか。】に 「① はい」と回答しているが、I1. 視覚障害学生学内支援詳細 【Iで「はい」と回答した大学に伺います。具体的にどのような支援をしますか。】の選択肢について未回答、またはコメントのみの場合 I. 視覚障害学生学内支援有無 の回答を「②いいえ」に変更処理する。

本調査回答にご協力いただきありがとうございます。回答についてのお問い合わせは、回答画面の各下部にあるウェブサイトの専用フォーム、または調査専用アドレス chosa@nscsd.jp までお送りください。